

集落課題の背景と基本的な取組方針

人口減少・高齢化の進展が著しい集落

住民 住み続けたいとの意向

当面取り組むべき施策

集落で現に住んでいる人の暮らしの安定・安心の確保

取組に対する基本的姿勢

- ・多様な主体の連携
- ・地域外の力の活用
- ・取組のための柔軟な枠組み

基礎的な生活サービスの確保

- ・診療所、商店等の集落からの撤退
- ・運転できない高齢者、一人暮らしの女性
- ・相互扶助機能を発揮してきた集落の機能低下、合併等による市町村の目配り機能の低下

「小さな拠点」とアクセス手段の確保

「小さな拠点」: 医療や食料品・日用品の買い物等の基礎的な生活サービスの提供機能を有する複合的な拠点

多様な主体の参画により実現

多様な主体の合意形成の場が重要

検討を深めるべき論点

- ・合意形成の場の設定に向けた環境整備（ワークショップ開催、計画・構想策定への支援）
- ・多様な主体による合意に実効性を持たせるための仕組み

多業による生計の維持

- ・農業生産条件の不利な中山間地域等では、大規模経営による収益確保が困難
- ・兼業機会の減少

生計の維持のために、農林業の収入に加えて少額の収入を追加するという観点が重要

「範囲の経済性」が発揮できる「多業」や「半農半X」という就業形態で事業展開

〔少量でも物語性のある独自ブランドの確立が必要〕

検討を深めるべき論点

- ・新たな事業に取り組もうとする場合、情報不足、煩雑な手続きが障害となることが指摘。そのため、情報提供や相談窓口の仕組みの検討
- ・専業による事業展開を前提としている現行制度に対する弾力的対応の検討

管理放棄地への適切な対応

- ・管理放棄地の実態把握が不十分
- ・所有者が不明の管理放棄地等で、境界が認知できない事態の発生が懸念
- ・耕作放棄地等によって周辺営農環境の低下等の外部不経済の発生

耕作放棄地の拡大防止に向けて、認定農業者への農地の集積促進に加えて、UJターン者や企業など新たな担い手の参入の促進

地域による共同管理等の導入

検討を深めるべき論点

- ・担い手確保のための円滑な調整の仕組み（営農希望者に対して農地所有者を紹介する仕組み）
- ・管理放棄地による外部不経済を抑制する仕組み

施策の実現のための人材と資金の確保

- ・人口減少、高齢化により集落での活動の担い手は不足
- ・都市側で地域の取組に貢献したいという意識の高まり

- ・ソフト事業に対する公的支援策の充実が求められる一方で、財政状況悪化による補助金等への過度な期待はできない状況
- ・地域で活動するNPO等の各主体の取組の立ち上げに要する資金の確保が困難

人材の活動環境の整備

意欲ある普通の人
リーダーやコーディネーターとして
活躍できる仕組み

外部からサポートする
プロデューサー、中間支援組織などが必要

プロデューサー: 豊富な経験等から事業全体のプロセスを立案・構想する能力を有し、地元の人に助言しながら一緒になって事業を推進する人材

検討を深めるべき論点

- ・プロデューサー等の育成・強化の多面的方策
- ・地域の各主体がプロデューサー等や中間支援組織の支援を受けやすくするための環境整備(プロデューサー等や中間支援組織の実績や能力に関する情報の提供等)

資金の確保

- ・ソフト施策に対する財政支援の充実
- ・地域貢献意識を顕在化させることを通じて民間資金を確保する「『志』ある投資」を促進
- ・社員の福利厚生の一環、CSRの要素を含みつつ本業のビジネスにも還元しうる活動など、多様な形態での企業の参画の促進

検討を深めるべき論点

- ・民間からの投資・寄付を促す環境整備(「『志』ある投資」の考え方も取り入れた新たな商品の開発についての情報提供)
- ・民間からの投資・寄付や企業の参画を促進するための制度的手当について検討

・「検討を深めるべき論点」については、今後、地域での議論の進展とともに、関係府省が連携して具体的な施策につなげることを期待。

・本中間とりまとめでは、現に住んでいる人の暮らしの安定・安心に焦点を絞って整理したが、集落の課題については、例えば、より積極的に若い世代を呼び込んで活性化を追求する方策や、地域住民の十分な話し合いの下で計画的撤退をいかに円滑に進めるかなど、地域特性に応じて様々な課題が存在。こうした課題についても、今後、検討が深められることを期待。